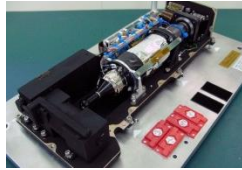


水星磁気圏探査機(MMO)と水星



水星ダスト計測器(MDM)



水星ナトリウム大気分光カメラ(MSASI)

国際水星探査計画「BepiColombo」打ち上げ成功

日本時間10月20日、ギアナ宇宙センターから宇宙航空研究開発機構(JAXA)と欧州宇宙機関(ESA)の国際水星探査計画「BepiColombo」(ベピコロポ)ミッションの探査機を搭載したアリアン5型ロケットが打ち上げられました。搭載されている2つの探査機は9回のスイングバイを繰り返し、7年の歳月をかけて水星周回軌道に投入されます。

明星電気が開発を担当した搭載機器は以下のとおりです。

【水星磁気圏探査機「みお」(MMO) 搭載機器】

- ・水星ダスト計測器(MDM)
- ・水星ナトリウム大気分光カメラ(MSASI)
- ・高速中性子粒子計測器(ENA)
- ・高エネルギーイオン粒子観測器(HEP-i / TOF)
- ・水星イオン質量分析器(MSA)
- ・水星イオン分析器(MIA)
- ・太陽粒子モニタ(SPM)

【水星表面探査機(MPO) 搭載機器】

- ・遠紫外線検出器(FUV)
- ・極端紫外線検出器(EUV)

明星電気の宇宙観測機器が宇宙の謎の解明に貢献します。

(担当: 宇宙防衛事業部)



当社説明風景

日印防災協力会議に参加

10月15日に内閣府にて開催された日印防災協力会議(Japan-India Workshop on Disaster Risk Reduction)に参加しました。この会議は、日本とインドの自然防災関係専門機関が出席し、洪水災害や地震防災の現状とその対策について両国の取り組みを報告し、改善につなげるものです。明星電気は、日本防災プラットホーム(JBP)の会員として、自治体向け震度情報ネットワークシステムをインド政府の閣僚や専門機関に対して紹介しました。

今後も地震関連の防災システムを積極的に海外に提案、展開し、世界の安全安心な発展に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)

平成30年7月豪雨被災地にPOTEKA設置

前線や台風7号の影響で西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった平成30年7月豪雨により、各地で河川の氾濫、浸水、土砂災害などの甚大な被害が発生しました。

当社は、雨量観測により次の豪雨に備えるとともに、復興作業における熱中症予防につなげていただくなど災害支援を目的として、IHI呉事業所と呉市内で被害が大きく特例地区に指定された4地区にPOTEKAを設置しました。

被災された皆さまと各地で復興作業に取り組んでいる方々の安全・安心に貢献できるように、これからもPOTEKA事業を推進していきます。

(担当: 中四国支店、気象防災事業部)



IHI呉事業所に設置されたPOTEKA

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。